HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	『北方言語研究』第12号発刊にあたって
Citation	北方言語研究, 12
Issue Date	2022-03-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/84914
Type	editorial
File Information	01_Introduction.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

『北方言語研究』第 12 号発刊にあたって

本誌 12 号を、本学会顧問の津曲敏郎先生（北海道大学名誉教授・北海道立北方民族博物館前館長）の追悼号としてここに発刊し、以て津曲先生の御霊前に捧げます。

すでに前号でお知らせした通り、津曲先生は、2020 年 11 月 7 日に逝去されました。そのちょうど 1 年後となる 2021 年 11 月 6 日と 7 日に、先生が館長を務めておられた北海道立北方民族博物館において本学会第 4 回大会（兼国際シンポジウム）を開催しました。当日のプログラムでは、津曲先生ゆかりの方々による特別講演として、海外から、高東昊先生（韓国・全北大学）、A.M. Pevnov 先生（Institute for Linguistic Studies, RAS）、Ekaterina Gruzdeva 先生（University of Helsinki）、Juha Janhunen 先生（University of Helsinki）、宮川琢先生（ウラジオストク日本センター）にご登壇いただきました。今年度は、本誌に加え、これらのご講演、更に、津曲先生を師・先輩と仰ぎ慕う方々からの論考などを収めた「特別号」も別途刊行する予定です。いずれも、永年に亘る津曲先生のご功績を讃え、本学会への献身的なご尽力に対する感謝の気持ちを捧げるために企図されたものですが、私たちの思いのいくばくかが津曲先生に伝わることを願ってやみません。

更に、「津曲敏郎賞」が新たに創設されることにも触れなくてはなりません。これは、北方言語研究のますますの伸展を希い、後進の指導に注力してこられた津曲先生のご遺志を受けてご遺族から本学会にいただいたご寄附をもとにして創設されるものです。目下、その詳細について事務局で検討を重ねているところですが、「津曲敏郎賞」の創設が特に若手研究者の励みとなることが大いに期待されます。津曲先生ならびにご遺族のご厚志に心から御礼申し上げます。

尚、この間、学会の体制の変更があったことについてお知らせします。これもすでにご存じの通り、呉人惠先生が 2021 年 4 月より北方民族博物館館長に就任されたことにより、呉人先生から会長職を退任したいというお申し出がありました。後任について事務局で慎重に検討した結果、僭越ながら堀が呉人先生の後を承けて会長職をお引き受けすることになりました。もとよりそのような重職に見合うほどの実力も能力もないことを十分承知していますが、脈々と続いてきた日本の北方言語研究の学統の担い手の一人として力を尽くす所存ですので、今後とも、会員各位のご協力とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。また、設立以来、会長として本学会を牽引してこられた呉人先生に心から感謝申し上げます。

2022 年 2 月 28 日
日本北方言語学会
会長　堀　博文